

しょうがくせい ちゅうがくせいむ
小学生・中学生向けパンフレット

どくしょ としょかん あん さっぽろ読書・図書館プラン2022 (案)

みな いけん ほしゅう
皆さんのご意見を募集します。

ほしゅうきかん れいわ ねん ねん がつここのか すいようび
【募集期間】令和4年(2022年)3月9日(水曜日)

れいわ ねん ねん がつなのか もくようび ひ つ ゆうこう
～令和4年(2022年)4月7日(木曜日) [この日までに着いたものが有効です]

さっぽろし れいわ ねんど ねんど ねんかん さっぽろし どもん どくしょかつどう
札幌市では、令和4年度(2022年度)からの5年間に、札幌市民の読書活動や
としょかん うんえい すず
図書館の運営をどのように進めていくのかについてまとめた

どくしょ としょかん
さっぽろ読書・図書館プラン2022 をつくっています。

けいかく さっぽろし みらい にな みな いけん さんこう
この計画をつくるうえで、札幌市の未来を担う皆さんのご意見を参考にして、
よ けいかく かんが
より良い計画にしたいと考えています。

このパンフレットをよんで、きづいたこと、かんが おし
考えたことを教えてください。

～大人の皆さまへ～

このパンフレットは「さっぽろ読書・図書館プラン2022(案)」の策定に当たり、子どもたちの意見を聴くために作成したものです。ぜひ、お子さまと一緒に読んでください。

なお、大人の方向けの「さっぽろ読書・図書館プラン2022(案)」は、下記ホームページにてご覧いただけます。

<https://www.city.sapporo.jp/toshokan/guide/sisin/plan2022.html>



さっぽろし
札幌市

市政等資料番号
02-S03-21-2259

さっぽろ読書・図書館プラン2022ってどんな計画？

さっぽろ読書・図書館プラン2022は、

札幌市民の読書活動を盛んにするとともに、より良い図書館運営を実現する

ために、今後5年間で取り組みたい内容をまとめた計画です。

計画のかたち

札幌市図書館ビジョン

第2次計画の期間

2011年度から概ね10年間

札幌市図書館ビジョンでは、
図書館の運営方法・図書館サービスの
基本的な考え方や方向性を示してきました。

札幌市子どもの読書活動推進計画

第3次計画の期間

2015年度から2021年度まで

札幌市子どもの読書活動推進計画では、
子どもが自主的に楽しく読書し、生きる
力を身につけられるような取組を示して
きました。

とう
ごう
統
合

さっぽろ読書・図書館プラン2022

計画の対象

市民

乳幼児から高齢者まで

札幌市民全般

+

団体

図書館や読書活動と

関わりを持つ各種団体

なぜ計画をつくる必要があるの？

札幌市は、次にあげるような現在の読書環境や図書館を取り巻く状況からみて、さっぽろ読書・図書館プラン2022をつくる必要があると考えました。

環境の変化

近年（近ごろ）は、これまでも増して社会環境が急速に変化しています。

- 人口構成（年齢別の人口の状況など）や社会の状況が変化しています。
- 情報化（情報が重要な価値を持つこと）やグローバル化（物事を地球規模で考えること）が進展しています。
- 持続可能な社会（現在の世代と将来の世代の必要性を、どちらも満たすことができる社会）を目指す必要があります。
- 子どもを含め、多くの人々が忙しく、読書量が少なくなる傾向にあります。
- 読書にもバリアフリー化（生活するうえで難しさがある人の支障を取り除く）努力が必要です。
- 図書館を利用する人の偏りや、地区図書館を利用する人が少なくなる傾向が見られます。

国・北海道・札幌市の考えや動き

国や北海道、札幌市は、図書館や読書はとても重要なものと考えています。

- 読書活動はとても重要で、生きる上で欠かせないことを色々な形で知らせています。
 - ・ 関係する法律や計画などを改正して、重要性を知らせています。
 - ・ 学校の授業を行う考え方などを見直して、重要性を知らせています。
 - ・ 市民向けの生涯学習の考え方などを見直して、重要性を知らせています。

札幌市のこれまでの取組の成果と課題

さらに札幌市では、より良い図書館運営を行うことや、読書活動が盛んに行われることに役立つよう、二つの計画に沿って取組を進めてきました。

- 図書館ビジョン：主に図書館サービスの充実に向けて取り組みました。利用者の満足度が向上するなどの成果がありましたが、市民への情報発信や運営などについては、より良くする余地があると考えられます。
- 子ども読書プラン：主に子どもが読書を楽しめる環境づくりに取り組みました。それぞれの取組はある程度評価されましたが、子どもの読書活動全体を盛んにすることについては、十分にできたとは言いえない状況です。

め ざ どんなことを目指しているの？

げんざい どくしょかんきょう としょかん と ま じょうきょう こんご
現在の読書環境や図書館を取り巻く状況を考えると、今後も

ちいきてんかい
「地域展開」

みちか ちいき やくだ とりくみ おこな
(身近な地域でも役立つ取組を行うこと)

へんか たいおう どくしょかんきょう としょかん
「変化に対応した読書環境・図書館」

じゅうなん かんが かた としょかん うんえい
(柔軟な考え方で図書館を運営すること)

とりくみ けいぞく じぞくかのうせい
「取組の継続・持続可能性」

やくだ とりくみ しょうらい つづ
(役立つ取組を将来も続けていけること)

といった三つの重要な点を意識した取組を行っていくことが必要だと考えています。

きほんりねん 基本理念

きほんりねん けいかく こんぼん かんが かた もくひょう い
基本理念とは、この計画の根本となる考え方・目標のことを言います。

この計画では、古くからある図書館の役割(全ての市民の読書活動のための取組)だけでなく、図書館が「知の拠点」(知識を得る・知ることの中心地)として、市民の皆さんに理解してもらえるように、上に記した三つの重要な点を意識して、

しみん しょうがい まな そうぞうてき かつどう ささ
「市民の生涯にわたる学びや創造的な活動を支える」

ことを、この計画の基本理念とします。

きほんほうしん 基本方針

そして、基本理念を実現するために、次の四つの基本方針(目指す方向)を置くこととします。

きほんほうしん 基本方針1	しみん どくしょかんきょう じゅうじつ じょうほうかつよう しえん 市民の読書環境の充実と情報活用の支援
きほんほうしん 基本方針2	こ どくしょかんきょう じゅうじつ どくしょかつどう しえん 子どもの読書環境の充実と読書活動の支援
きほんほうしん 基本方針3	すべ しみん まな じょうほう きよてん かんきょうせいび 全ての市民の学びと情報の拠点としての環境整備
きほんほうしん 基本方針4	じぞくかのう としょかん みず としょかんうんえい 持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営

どんなことに取り組むの？ (1)

この計画では、四つの基本方針に沿って、いろいろなことに取り組みます。

基本方針1：市民の読書環境の充実と情報活用の支援

1 (1) 市民の誰もが文字・活字文化に親しむ基盤の整備や読書を楽しむ機会の充実にを図る

- 文字や活字に親しむための土台となる資料や仕組みなどを整えます。
- 市民の誰もが読書を楽しめるよう環境を充実させます。
- 読書や図書館に触れる機会を提供します。
- 新たな読書の機会をつくりだすための方法を考えます。

1 (2) 来館が難しい方や障がいのある方の読書環境の充実にを図る

- 読書や図書館の利用に特別な支援が必要な方へのサービスを充実させます。
- 視覚での認識（見てわかること）が難しい方の手助けをします。

1 (3) 市民による情報の収集や活用を支援する

- 市民の皆さんが情報を集めたり、効果的に使ったりすることを支援します。
- 読書を通じて様々な文化への理解をうながします。

1 (4) 読書を支える多様な活動を支援する

- 読書活動の推進に取り組む人たちと連携を進めます。
- 読書を支える人たち同士のつながりをつくりだす手助けをします。



どんなことに取り組むの？ (2)

基本方針2：子どもの読書環境の充実と読書活動の支援

2 (1) あらゆる機会・場所で子どもが読書に親しむ環境をつくる

- 子どもたちが自分に身近な地域で読書に親しめる環境を充実させます。
- 学校図書館の読書環境を充実させます。
- 子どもたちが利用する施設の読書環境を充実させます。
- 親子での利用や居場所としての利用ができる図書館にする研究をします。

2 (2) 市民が子どもの読書推進の意識を共有する

- 子どもたちの読書について保護者に理解を深めてもらいます。
- 子どもたちが読書に関心を持てるよう働きかけます。

2 (3) 発達段階ごとに効果的な読書支援に取り組む

- 学校に入る前の子どもたちが読書に親しめる環境を充実させます。
- 学校に通う時期の子どもたちが読書に親しめる環境を充実させます。
- 特別な支援が必要な子どもたちが読書に親しめる環境を充実させます。

2 (4) 子どもの興味や関心に応じた活動を支援して物事を探究する姿勢を養う

- 子どもたちの読書を支える人たちを手助けします。
- 子どもたちの読書活動推進のために関係する団体と札幌市の連携を進めます。



どんなことに取り組むの？ (3)

基本方針3：全ての市民の学びと情報の拠点としての環境整備

3 (1) 全ての市民の課題解決を支援する

- 市民の皆さんにとって身近な課題の解決を支援します。
- レファレンス（図書などの参考調査）の機能をさらに充実させます。

3 (2) 身近な地域の学びの場としての機能を強化する

- 地域の皆さんが生涯学習に取り組む場としての図書館の役割を考えます。

3 (3) 地域の生涯学習と情報の拠点としての機能強化に向けて検討を進める

- 市民の皆さんが生涯を通して学習することを支援します。

基本方針4：持続可能な図書館サービスを見据えた図書館運営

4 (1) 将来にわたって持続可能な図書館とするための取組を進める

- 計画的に図書館の施設や設備を直します。
- 図書館のサービスを市民の皆さんと協力して提供できる方法を考えます。
- 将来も続けていくことができる図書館のサービスについて考えます。
- 図書館の持つ価値や重要性を広く市民の皆さんに知らせます。

4 (2) 社会経済情勢や市民ニーズの変化に応じた図書館サービスの検討を進める

- 新たな時代にふさわしい図書館のサービスについて考えます。
- 図書館の運営を担うことができる人材を育成します。



4 (3) 民間活力の導入を含む図書館の効果的・効率的な管理運営手法を検討する

- 適切な図書館の運営方法について引き続き考えます。

「さっぽろ読書・図書館プラン2022（案）」について、みなさんからご意見を募集しています。

- 令和4年4月7日（木）までに着くように、以下の方法で提出してください。
- 学校で取りまとめている場合は、先生に渡してください。
- 電話での受け付けはしていませんので、注意してください。

○郵送の場合

このページを切り取り、意見を書いた後、折り線のとおり折って、のり付けをしてポストへ入れてください。切手はいりません。

○FAXの場合

このページを切り取り、011-512-7110 へ送ってください。

○電子メールの場合

chuotosyokan@city.sapporo.jp へ送ってください。

○ホームページ入力フォームの場合

https://www.city.sapporo.jp/toshokan/guide/sisin/plan2022_form.html

○直接持っていく場合

中央図書館（中央区南22条西13丁目1-1）の3階にある事務室まで持ってきてください。受付時間は、8時45分から17時15分までです。土・日・祝日、休館日も受け付けます。

【交通機関】

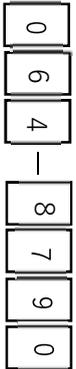
- 市電「中央図書館前」下車すぐ
- じょうてつバス「南21条西11丁目」から徒歩7分

ヤマオリ



札幌市教育委員会中央図書館運営企画課

札幌市中央区南11条西13丁目1-1



126

ヤマオリ

<保護者の方へ>

- いただいた意見に対して、個別に回答はしませんが、意見の要点をまとめ、それに対する市役所の考え方とあわせて、ホームページなどで発表します。
- 記入用紙に氏名や学年を書かなくてもかまいません。
- 意見の要点を発表するとき、お名前は公表しませんが、学年を紹介する場合があります。
- 小学生・中学生向けのほかに、一般用の資料を中央図書館や地区図書館などの図書施設、市役所、区役所、まちづくりセンターなどで配布しています。
- お名前などについては、札幌市個人情報保護条例の規定にしたがって、適正に取り扱います。

【担当】

札幌市教育委員会中央図書館運営企画課

TEL:011-512-7330

FAX:011-512-7110